



堺市子ども自殺危機対応支援チーム【SCSCIS（サクシス）】とは

資料5

- 自殺リスクのある子どもへの対応について、学校（教職員）が困難なケースに直面したときに、子ども自殺危機対応支援チーム Sakai Child Suicide Crisis Intervention Support team（以下、SCSCIS: サクシス）へ支援を要請してもらうことにより、専門的な対応や方法を助言する等の支援を行います。
- SCSCIS（サクシス）は、弁護士、児童精神科医、心理職、民間団体、有識者及び危機対応調整担当職員で構成され、多角的な視点で助言等を行います。

支援対象者

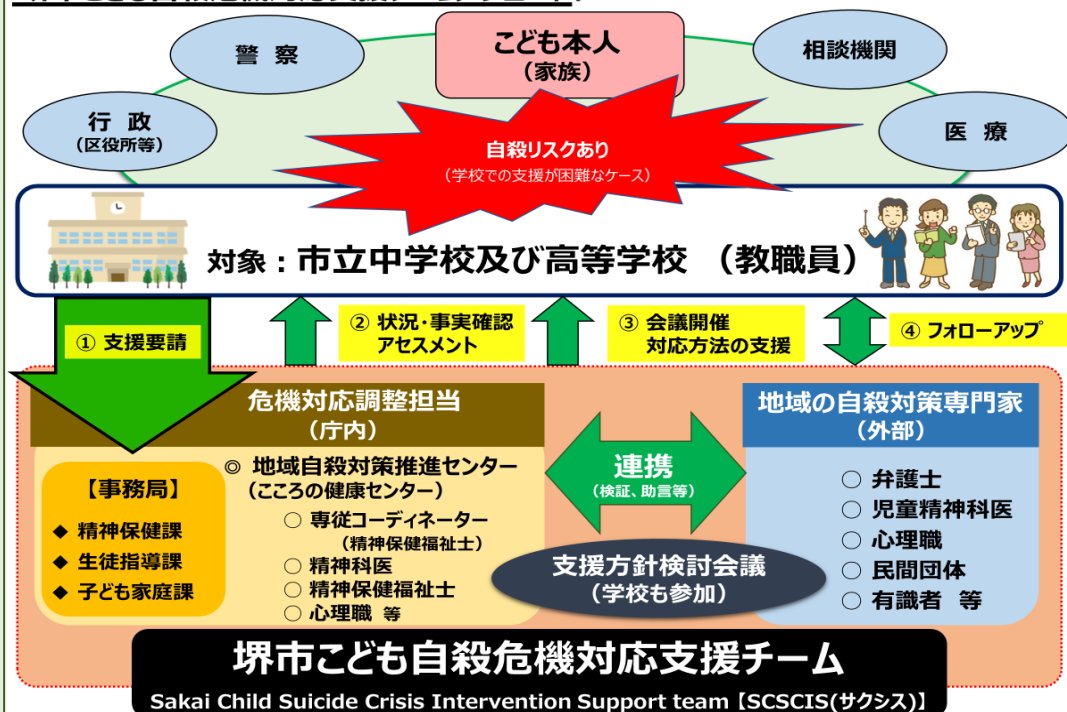
以下の自殺リスクがある子どもに対応し、困難さを感じている市立中学校及び市立高等学校の教職員等

- ① 自殺未遂歴がある
- ② 自傷行為の経験がある
- ③ 自殺をほのめかす言動があり、自殺の可能性が否定できない
- ④ その他（①～③以外で、何らかの理由や状況から自殺のリスクが否定できないと考えられるケース）

支援内容

- 教育委員会事務局生徒指導課を通じて本チームに支援を要請してもらうことにより、自殺リスクのある子どものアセスメントや見立てを行い、対応方法等について学校（教職員等）へ助言する等の支援を行います。
- 支援方針検討会議は必要に応じて支援を要請していただいた学校（教職員等）にも参加いただくことができ、地域の自殺対策専門家による助言等の支援を行います。
- 支援が終結するまで継続してフォローアップを行います。

堺市子ども自殺危機対応支援チーム フロー図



想定事例

事例 1

生徒から「死にたい」と書かれたメモを受け取ったが、家庭には事情があり対応に悩む

SCSCIS（サクシス）の対応

- ・心理職や児童精神科医から教職員へ**初期対応の方針と声かけの仕方**を助言。
- ・法的な観点から、家庭との連携や情報共有の進め方を**弁護士がアドバイス**。
- ・外部支援機関との橋渡しに向けて、**危機対応調整担当職員が動く**。

事例 2

SNSを通じて生徒が自傷写真を投稿している

SCSCIS（サクシス）の対応

- ・心理職や有識者が**SNSリスクに関する判断ポイント**を助言。
- ・民間団体が同様のケース対応を共有し、**具体的な支援のつなぎ方を提案**。
- ・**対応にあたる担任や養護教諭等への個別フォローや相談支援**を実施。

事例 3

同じ学年で立て続けに2名の生徒が自殺未遂。教職員が疲弊

SCSCIS（サクシス）の対応

- ・複数の専門職の視点から、**対応の優先順位や判断の方向性**を助言。
- ・コーディネーターを中心とした支援や会議を通じて、**対応方針の再確認と役割整理**をサポート。
- ・必要に応じて、**他機関との連携や活用できる支援制度を紹介・提案**。

- 支援内容は一例であり、すべてのケースに同様の対応が行われるとは限りません。状況に応じて、適切な支援方法をご提案いたします。
- 個人情報は適切に保護され、関係者以外に共有されることはありません。
- 保護者や本人の同意が得られていない状況でも、教職員の方からご相談いただけます。

詳しくは下記へお問い合わせください

堺市健康福祉局

こころの健康センター
072-245-9192

精神保健課
072-228-7062

堺市教育委員会事務局

生徒指導課

072-340-3478

堺市子ども青少年局

子ども家庭課

072-228-7331